

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|---|---------------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 農林部農地林務課 | | ■担当係 | 農地林務係 |
| ■評価事業名称 | 岩手県治山林道協会負担金 | | | |
| ■評価事業コード | 050200 - 112 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 03 魅力ある農林業の振興 | | |
| | ■施策 | 06 森林資源の保全と多様な価値の活用 | | |
| ■事業の類型 | 06 負担金・補助金(ソフト事業) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の概要 | 治山及び林道事業の強化を図り、国土の保全と森林資源の充実を促進し、災害の防除と林業の振興に寄与する。緑の少年団大会を共催で開催、関連会議に出席陳情、研修会の開催、測量調査設計業務の受託、図書・資材の紹介斡旋する事業の負担金を負担する。 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成24年度事業計画 | 平成24年度事業量実績 |
|--------|--------------|--------|------------|-------------|
| 01 | 岩手県治山林道協会負担金 | 山林所有者等 | | 総会 1回 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 14 | 12 | 6 | 5 | |
| 人件費 | 576 | | 81 | | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 590 | 12 | 87 | 5 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 指標の説明 |
|-------|---------------|------|------|------|------|-------|
| 01 | 総会 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 開催回数 |
| 02 | 治山・林道の普及啓発活動等 | その都度 | その都度 | その都度 | その都度 | |
| 03 | 山地災害件数 | 0件 | 0件 | 1件 | 0件 | |

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

| | | | | | | |
|----|-------------|-------|------|--|---------|--|
| 04 | 総会出席1回当りコスト | 590千円 | 12千円 | | 0千円(欠席) | |
|----|-------------|-------|------|--|---------|--|

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

山地災害の発生もなく、概ね順調である。

問題点・課題等

近年の豪雨等による災害が多発した場合の協会への支援要請。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明